

コロナ禍における学習塾の オンライン授業に関する調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>

目次

1. 調査概要	3
2. まとめ	5
3. 本調査結果のポイント	6
4. アンケート調査結果	9
5. 調査データ ～塾の指導タイプ別クロス表～	27
6. 調査データ ～塾の規模別クロス表～	44

1. 調査概要

調査概要

調査目的	: コロナ禍における学習塾のオンライン授業の実施状況と課題を調査する
調査期間	: 2021年7月15日(木)~7月19日(月)
調査方法	: Webアンケート方式
調査地区	: 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・愛知県・大阪府・京都府・兵庫県
調査対象	: 学習塾の経営者、教員・講師、運営スタッフ
有効回答	: 100

調査項目

1. オンライン授業の導入有無
2. 実施しているオンライン授業の形式
3. オンライン授業の対象者
4. オンライン授業を受けている生徒の受講環境
5. オンライン授業を提供するために導入しているシステムやサービス
6. オンライン授業の教材
7. オンライン授業の効果・メリット
8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと
9. 今後オンライン授業を提供していく上で便利だと思う機能やサービス
10. 「導入を検討中」「導入予定なし」の理由
11. オンライン授業に関する今後の取り組み予定

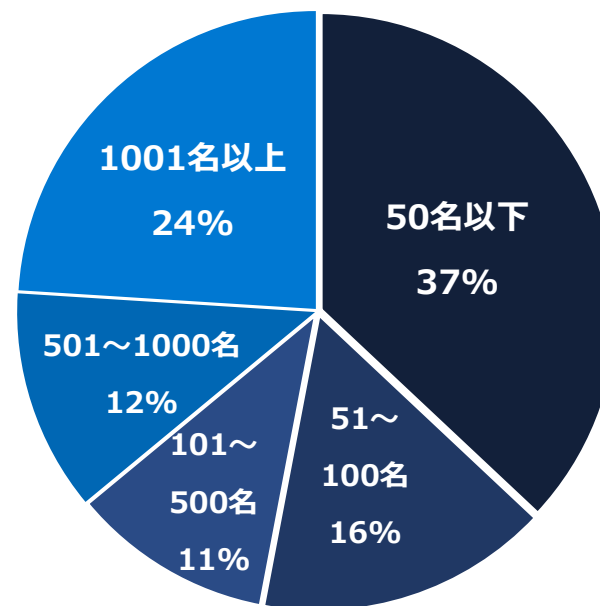
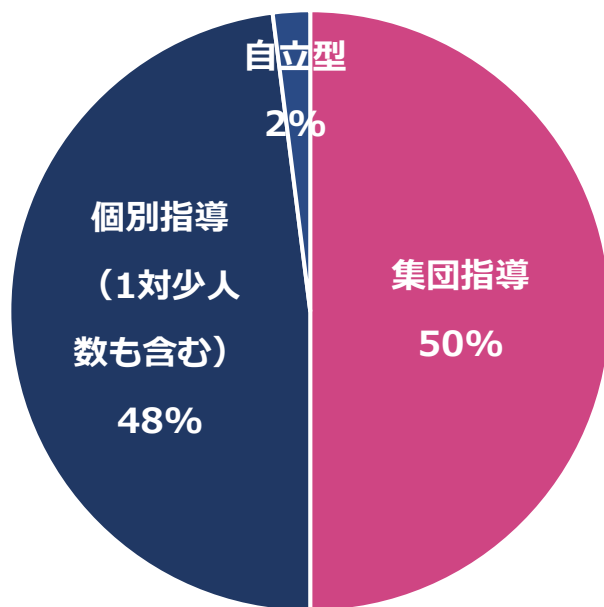
回答者属性

年代別内訳：30代以下14%、40代34%、50代28%、60代24%

地域内訳：関東66%、中部4%、近畿30%

塾の指導タイプ：集団指導50%、個別指導（1対少人数も含む）48%、自立型2%

塾の各拠点を含めた総生徒数：50名以下 37%、51～100名 16%、101～500名 11%、501～1000名 12%、1001名以上 24%



2. まとめ

eラーニング戦略研究所は2021年7月、関東・中部・関西地方の学習塾の経営者や講師らを対象に、オンライン授業の実施状況に関する調査を実施しました。

その結果、オンライン授業の導入率は58%で、そのうち「コロナの感染拡大を機に導入した」が4分の3を占めることが明らかとなりました。回答者に都市部の塾が多いことを考えると、コロナ禍で導入が進んだとはいえやや少ない印象です。なぜ学習塾ではオンライン授業の導入が思ったより進んでいないのでしょうか。アンケートから見てきたのは、(1)インフラ整備の問題 (2)小規模塾・個別指導塾における導入率の低さの2点です。

さらにもう1つ注目したいのは、一度はオンライン授業を導入したものの対面授業に戻したい塾がある点です。「生徒が本当に理解しているか直接顔を見ていないので不安。相手のテキストを指して『ここの部分が…』なんてことができない」といった意見のように、“生徒の反応や作業の様子が読み取れない”ことを課題に挙げる人ほど対面へ戻したい傾向がやや高いことが分かりました。インフラを整え、苦勞してオンライン授業の導入にこぎつけたとしても、対面と同等程度の指導ができなければオンライン授業を続ける障害となりうる可能性を示唆しています。

とはいえ、オンライン授業の評価が低いわけではありません。アンケートの結果、導入済み塾の96.6%が何らかの効果やメリットがあったと回答しています。内容は「自宅で安心安全に授業を受けられる環境を提供できた」「保護者から一定の評価を頂いた」「退塾者減少／退塾者を最小限に抑えることができた」「より多くの生徒への一斉指導が可能となった」などで、コロナ禍において自宅で安心安全に受講できるオンライン授業が一定の評価を受けるとともに、塾側にも運営上のメリットがあったことが読み取れます。このことから、塾におけるオンライン授業の導入率は限定的ではあるものの、実際に導入した塾では成果を上げているといえます。こうした中、「コロナが拡大すれば取り組みが加速すると思う」と今後の導入を検討する個別指導塾もありました。

事実、本調査を実施したのは夏休みに入る直前の2021年7月中旬ですが、その後、感染力の高い変異株の流行拡大により学習塾でのクラスターが発生するなど事態は変わってきています。こうした事態を受け8月以降オンラインへの切り替えを行っている塾もあり、今後の動向がより一層注目されます。

3. 本調査結果のポイント

- **学習塾におけるオンライン授業の導入率58%、コロナ禍で急速に導入が進む。**
「導入率が高い塾」「提供されているオンライン授業の種類」など、実施状況が明らかに。

アンケートの結果、学習塾におけるオンライン授業の導入率は58%だった。内訳は「新型コロナウイルスの感染拡大を機に導入した」43%、「それ以前から導入していた」15%で、コロナ禍で急速に導入が進んだと思われる。

詳しくみていくと、集団指導塾の方が個別指導塾に比べて導入率が高かった。

(集団指導塾：導入70%・導入予定なし24%、個別指導塾：導入45.8%・導入予定なし41.7%)

また、大手塾（総生徒数が501名以上）では8～9割がオンライン授業の導入を完了している。

このことから、一定数の生徒を対象とした集団対面授業を提供している塾ほど、コロナ感染防止対策の観点から授業のオンライン化の必要性が高く、迅速な導入が実施されたものと推察される。

提供されているオンライン授業は「ライブ配信型の映像授業」58.6%、「オンラインでのマンツーマン指導」50%、「録画配信型の映像授業」44.8%など。集団指導塾では「ライブ映像授業」「録画映像授業」が多く、個別指導塾では「オンラインでのマンツーマン指導」が多い。それぞれの塾の指導タイプにあったオンライン授業がうまく取り入れられているようだ。オンライン授業の対象者は「小学生」69%、「中学生」70.7%、「高校生」56.9%。

なお、オンライン授業で使用されている教材はオリジナルのものがほとんどで、その多くが塾で内製されていることがわかった。教材作成や動画配信についての負荷が大きいことは、今後求める機能について「授業映像の作成・配信が簡単にできる」「ライブ配信した映像をオンデマンドして再配信できる」などがポイントを集めていることから読み取れる。

■ なぜ学習塾ではオンライン授業の導入が進まないのか？ 「未導入の理由」と「一度は導入したものの対面授業に戻したい理由」

前述した通り、学習塾におけるオンライン授業の導入率は58%。アンケートの回答者に都市部の塾が多いことを考えるとコロナ禍で導入が進んだとはいえ、やや少ない印象だ。なぜなのか？ ポイントは次の2点だ。

1つめはインフラ整備の問題だ。オンライン授業を導入していない塾に理由を尋ねたところ、1番多かったのが「オンライン授業に必要な設備環境がない」で約6割を占めた。「時節柄オンラインはやむを得ない。しかしノウハウ・設備とも極めて貧弱なため実施の目途はたっていません」「してみたいもののどうしたらよいかよくわからない」といった意見もあり、オンライン授業を始めたい塾にとって最初の壁は大きい。実際にオンライン授業を導入した塾でも、苦労した点として“導入時のインフラ整備・授業準備・操作習得の大変さ”を挙げている人が多く、何らかの対策や支援が必要である。

2つめは小規模塾や個別指導塾における導入率の低さだ。オンライン授業を導入しない理由で2番目に多かったのが「オンライン授業は必要ない」だが、この回答率は小規模塾が高かった。実際に総生徒数50名以下の小さな塾では7割がオンライン授業を導入しておらず、個別指導塾の5割も未導入だ。今後についても、小規模塾の59.5%が「導入予定なし」と回答しており、オンライン授業の必要性や導入意欲自体がそもそも低い。これらが全体の導入率を引き下げている要因の一つと考えられる。

もう1つ注目したいのは、一度はオンライン授業を導入したものの対面授業に戻したい塾がある点だ。これは導入率を引き下げている直接的な要因ではないものの、なぜ対面に戻りたいのかは気になるところだ。ある人は「生徒が本当に理解しているか直接顔を見ていないので不安。相手のテキストを指して『ここの部分が…』なんてことができないし全体的に口数が多くなり疲れる」ため「早く対面に戻りたい」と述べている。ほかにも“生徒の反応や作業の様子がわからない”という人が対面へ戻りたい傾向がやや高かった。インフラを整え、苦労してオンライン授業の導入にこぎつけたとしても、対面と同等程度の指導ができなければオンライン授業を続ける障害となりうる可能性を示唆している。

■ 96.6%がオンライン授業に“成果あり”、塾側に運営上のメリットも。 全国的な感染拡大のなか今後の見通しは？

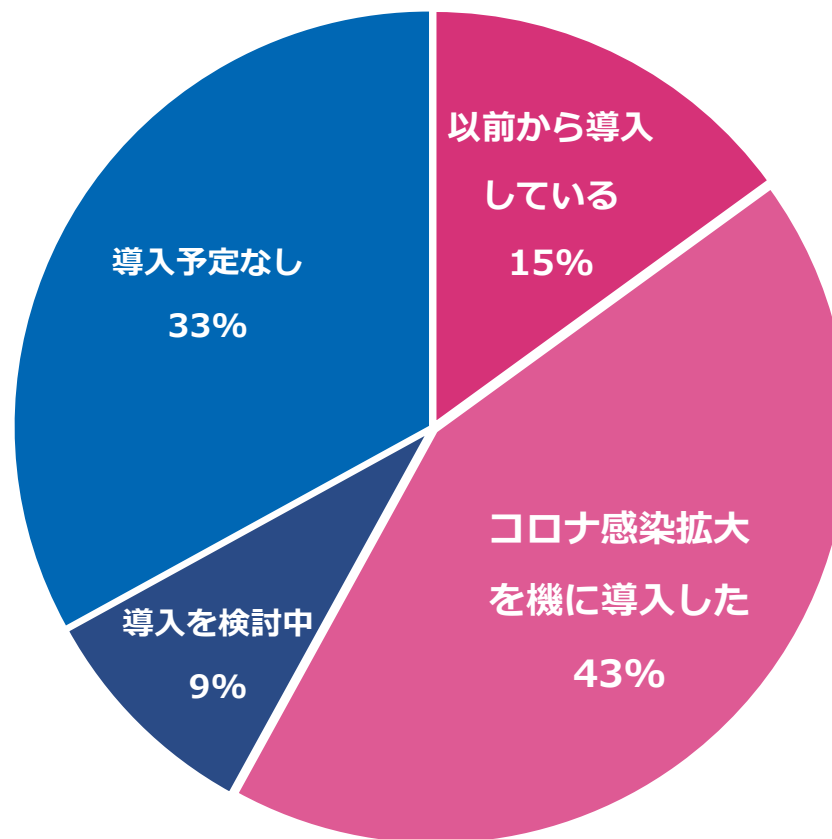
とはいえ、オンライン授業の評価が低いわけではない。アンケートの結果、オンライン授業を実施している塾の96.6%が何らかの効果やメリットがあったと回答している。もっとも多かったのは「生徒が自宅で安心安全に授業を受けられる環境を提供できた」で実に87.9%に上る。そのほか「保護者から一定の評価を頂いた」「退塾者減少／退塾者を最小限に抑えることができた」「より多くの生徒への一斉指導が可能となった」など。コロナ禍において自宅で安心安全に受講できるオンライン授業が一定の評価を受けているとともに、塾側にも運営上のメリットがあったことが読み取れる。

今後の取り組みについては「オンライン授業を充実させていく」が「対面授業に戻す・オンライン授業は必要ない」をやや上回る結果となった。前者については「オンライン授業を増やしていきたい」「より個別のパーソナルなニーズに対応していきたい」「生徒が理解しやすいような授業を工夫する」など、創意工夫でより効果的・効率的なオンライン授業を展開していきたいという意欲がみられた。以前からオンライン授業を導入していた塾にとっては「安心安全に学習する方法の1つ」と捉えられており、「次は遠隔地指導に取り組みたい」「海外からの参加者を作りたい」とあくまでも前向きだ。「コロナ禍が拡大すれば取り組みが加速すると思う」と今後の導入を検討中の個別指導塾もあった。

事実、本調査を実施したのは夏休みに入る直前の2021年7月中旬だが、その後、感染力の高い変異株の流行拡大により学習塾でのクラスターが発生するなど事態は変わってきている。夏休み中、弁当持参で通塾する子が多い夏期講習などにおいて感染が広まった可能性もあり、今後の受験シーズンに向けてさらに緊張感が高まることも予想される。こうした事態を受け8月以降オンラインへの切り替えを行っている塾もあり、今後の動向が注目される。

4. アンケート調査結果

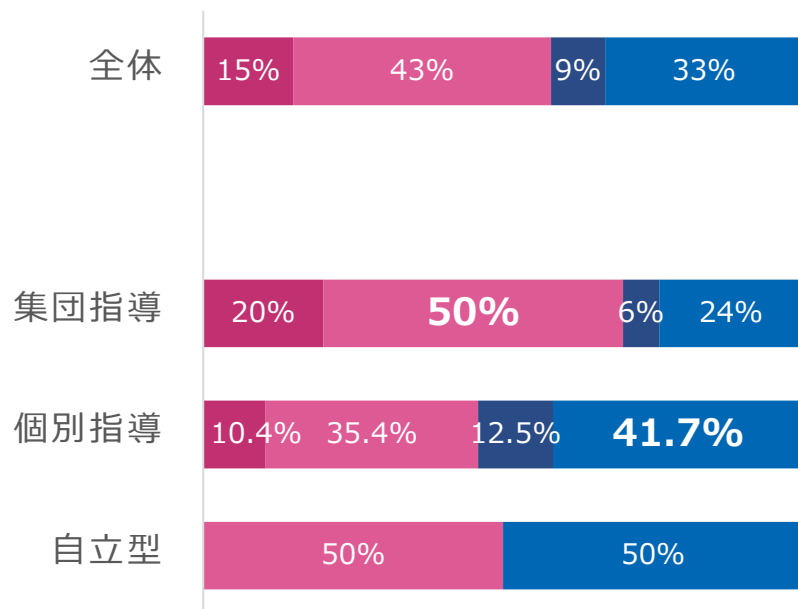
1. あなたの塾では自宅で受けられるオンライン授業を導入していますか。



注1) n=100

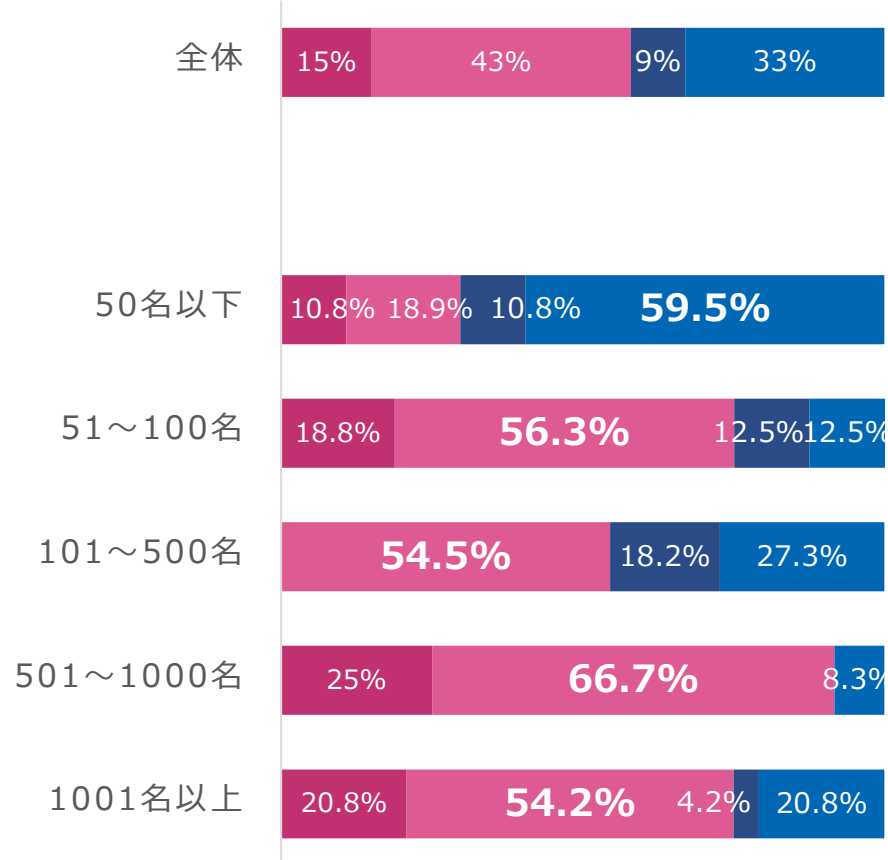
1. あなたの塾では自宅で受けられるオンライン授業を導入していますか。

塾の指導タイプ別



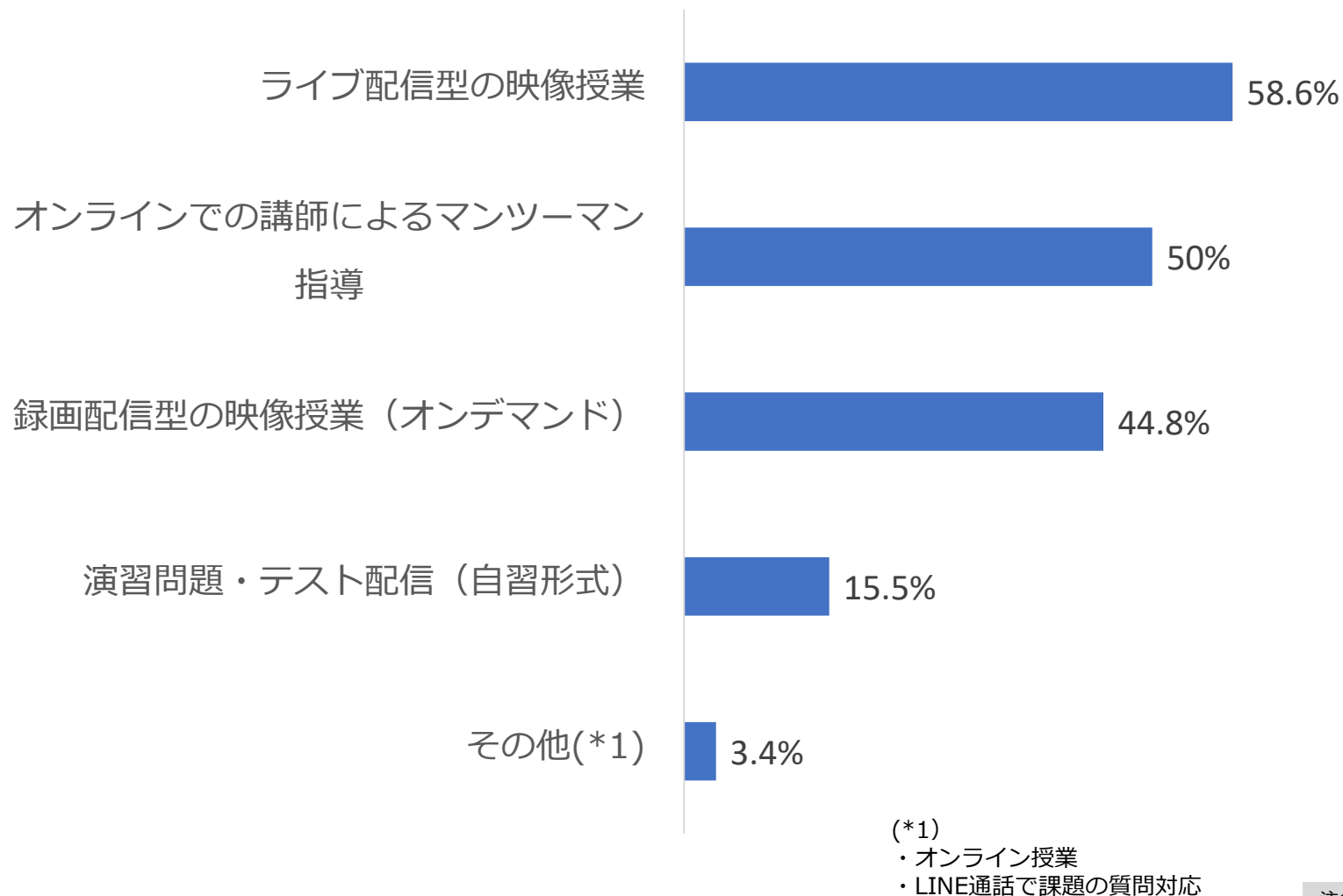
- 以前から導入している
- コロナ感染拡大を機に導入した
- 導入を検討中
- 導入予定なし

塾の規模別



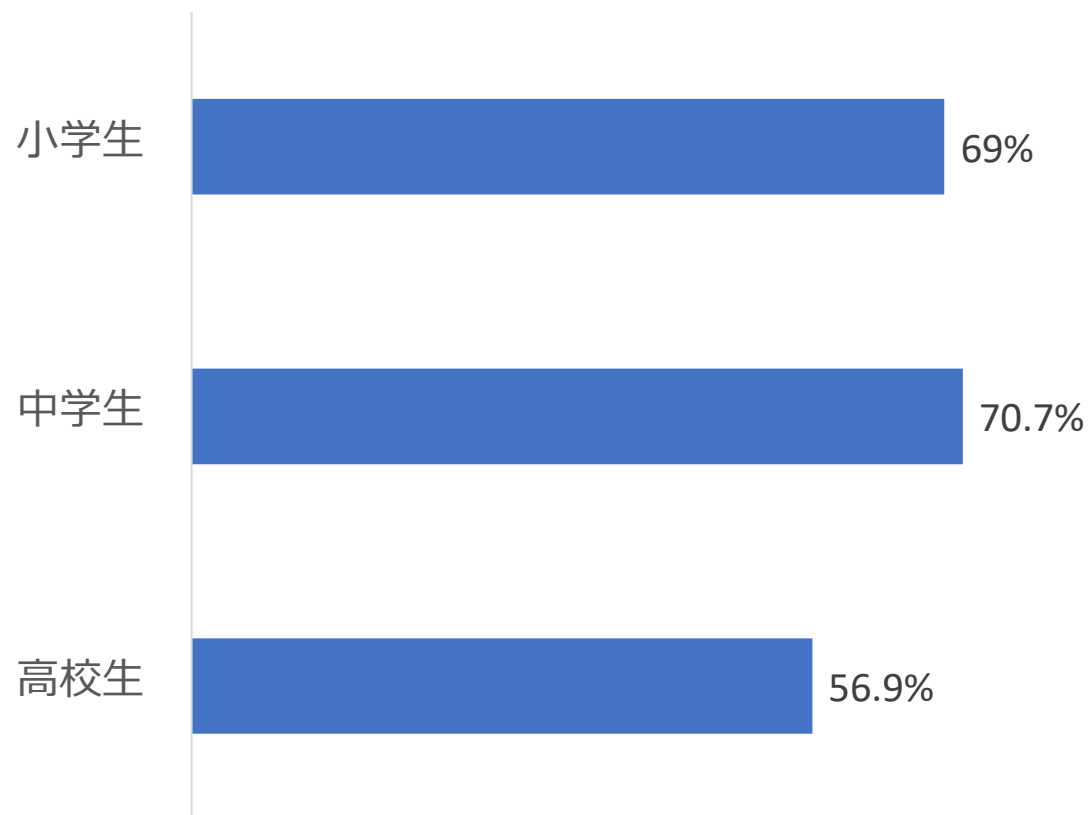
注1) n=100

2. 導入している方にお聞きします。オンライン授業の形式はどのようなものですか。



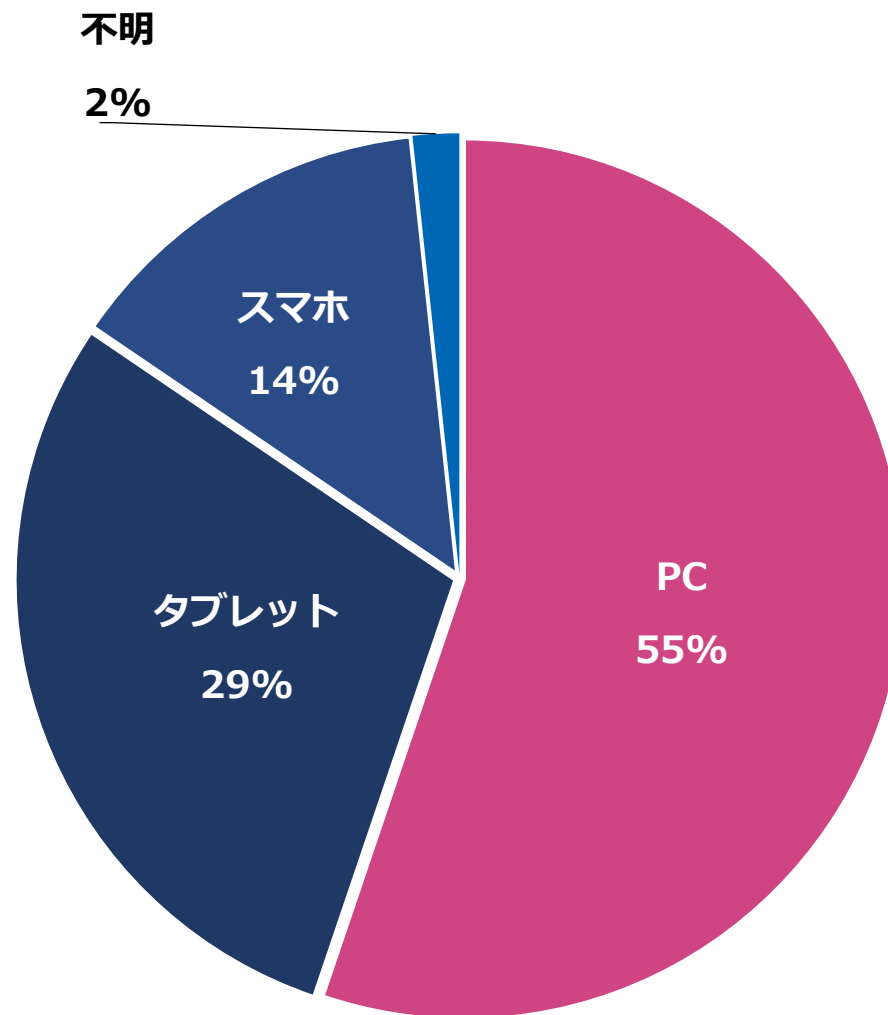
注1) n=58
注2) 複数回答

3. オンライン授業の対象者は誰ですか。



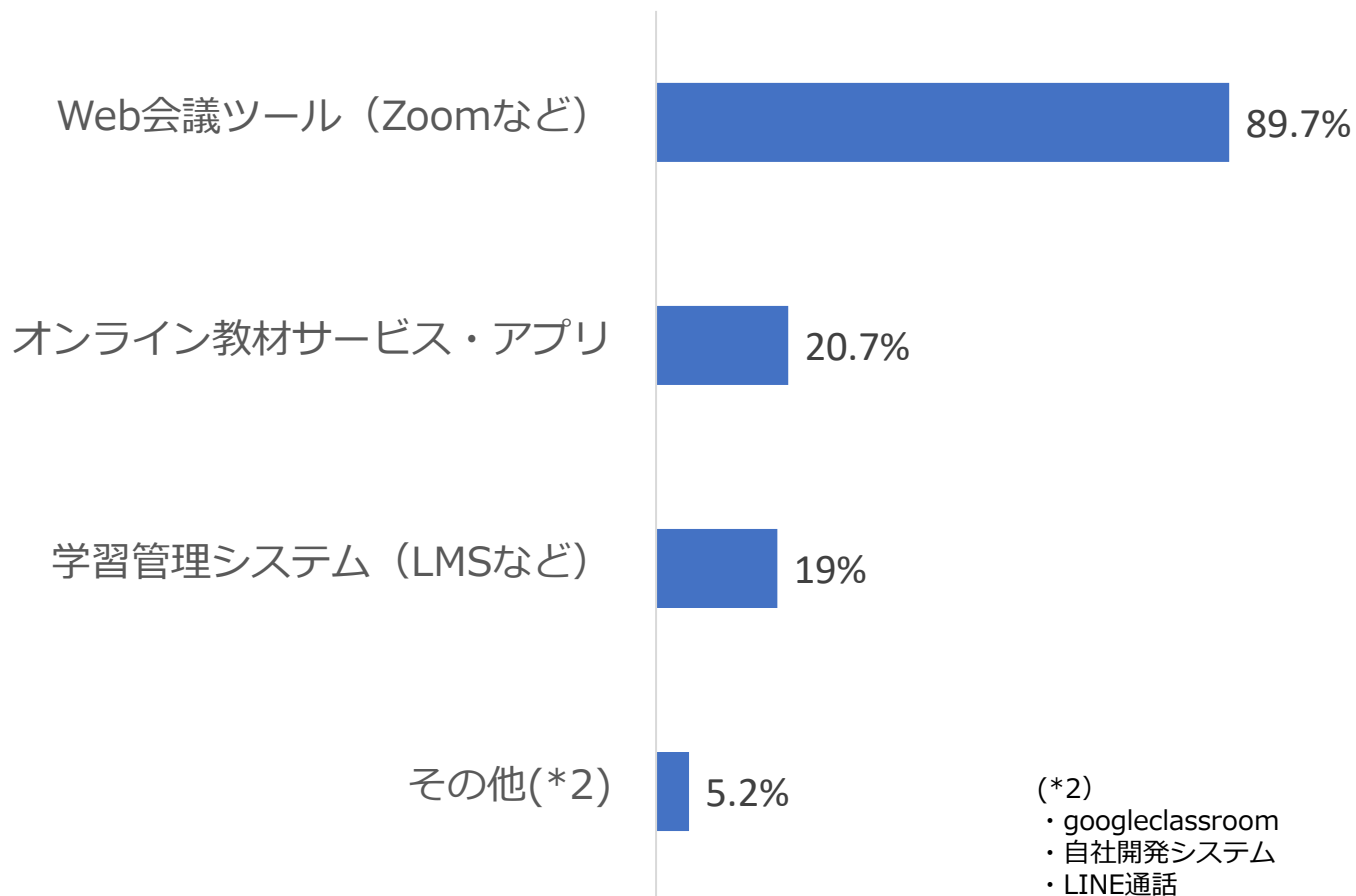
注1) n=58
注2) 複数回答

4.生徒が受講している主なデバイスは何ですか。



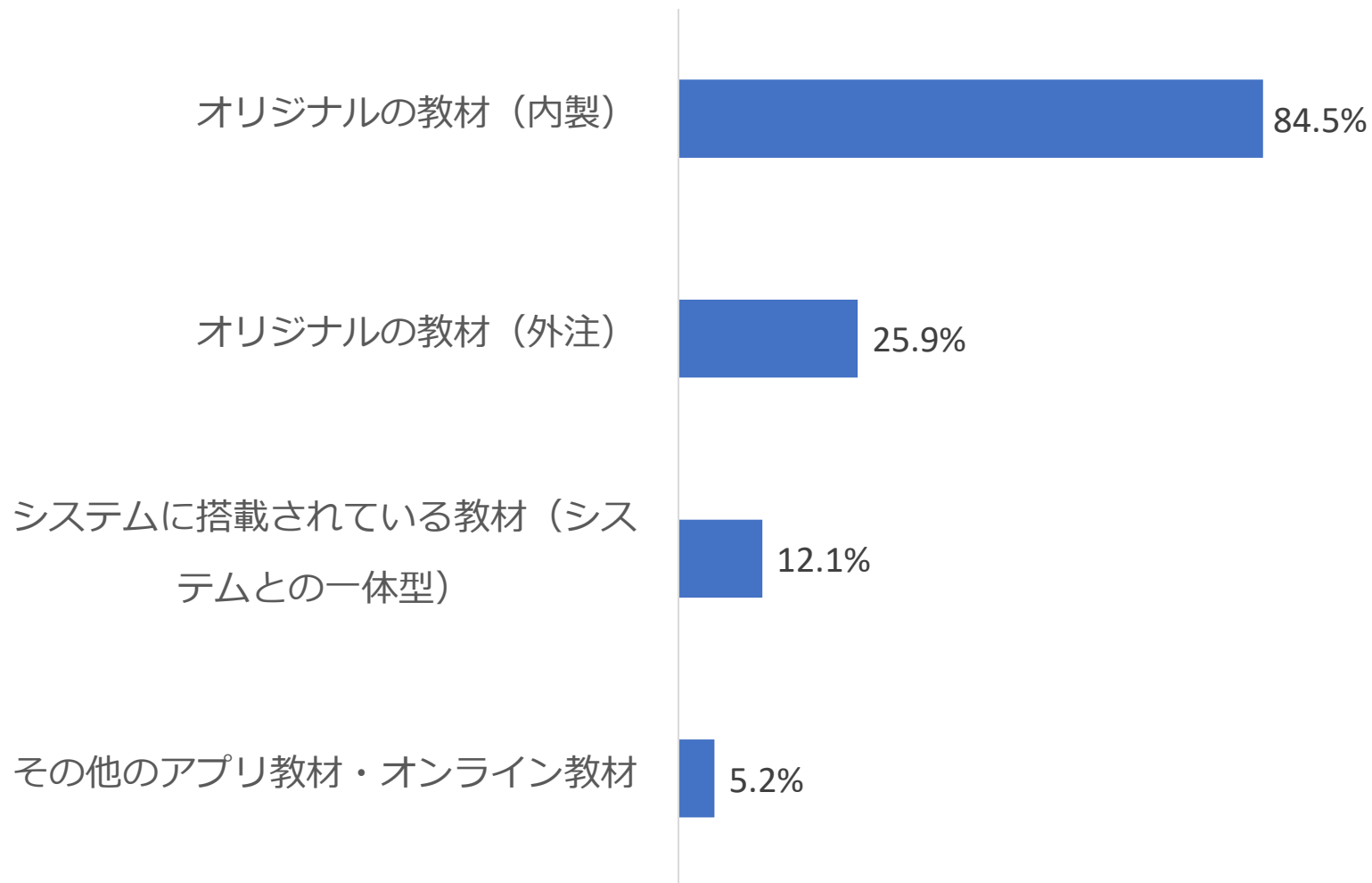
注1) n=58
注2) 複数回答

5. オンライン授業を提供するために導入しているシステムやサービスはありますか。



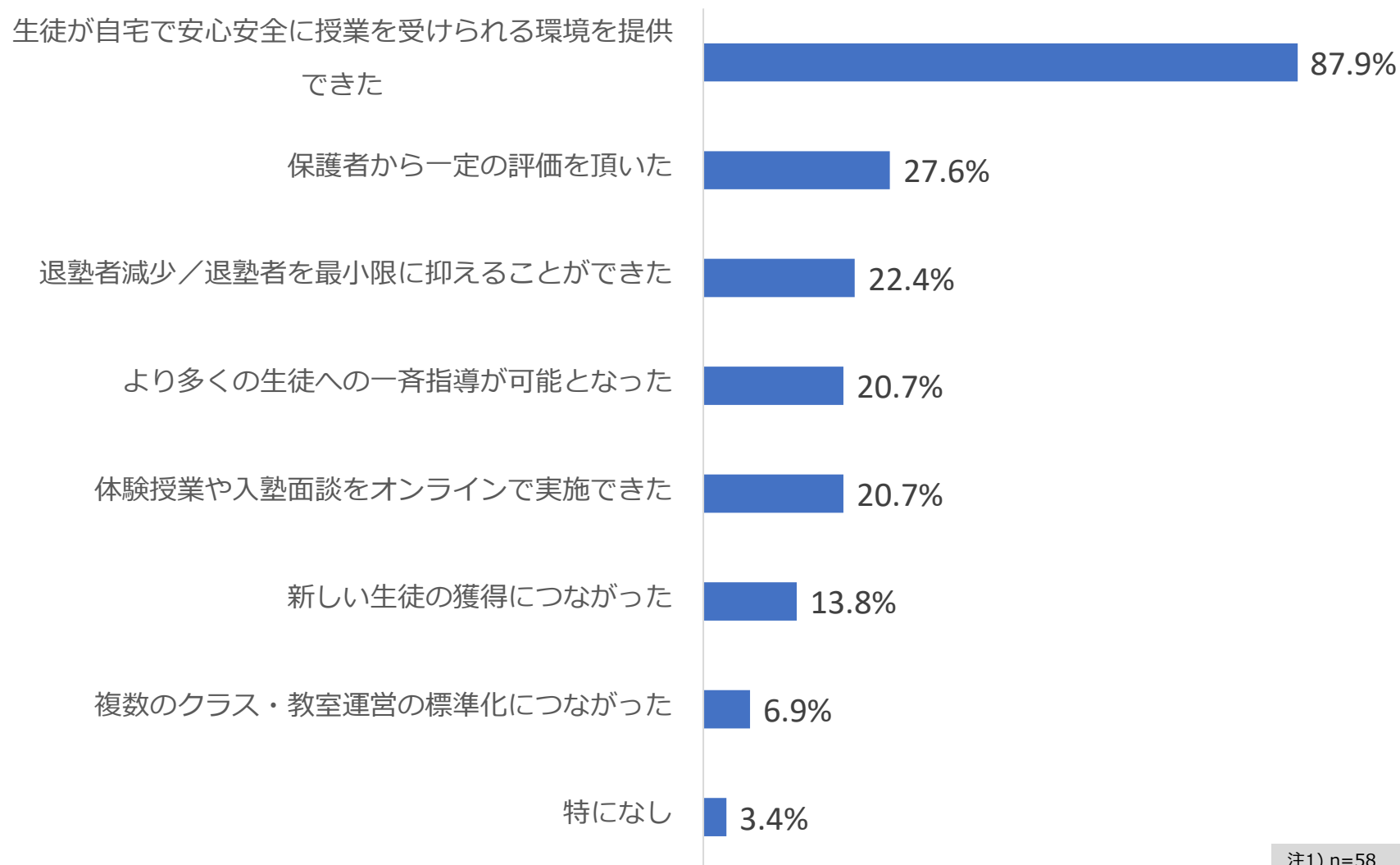
注1) n=58
注2) 複数回答

6. オンライン授業で提供している教材の作成元は次のどれに該当しますか。



注1) n=58
注2) 複数回答

7. オンライン授業にはどんな効果やメリットがありましたか。



注1) n=58
注2) 複数回答

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

インフラ整備・授業準備・操作習得

24%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
システム変更があったとき	以前から導入している		50名以下
ネット環境の構築			51～100名
システムの確立	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	50名以下
それぞれの画像を作ったり、授業準備や整備上の問題が大変だった。			51～100名
システムを整えるのが大変でした。また問い合わせも一時的に増えました。			501～1000名
苦手な分野なので覚えるのに苦労した			501～1000名
収録。			1001名以上
はじめだけ生徒に浸透させるのがたいへんだった		1001名以上	
インフラの設備の導入と調整		個別指導	50名以下
開催をするまでの準備が大変だった。			51～100名
機器の準備に苦労した。			51～100名
環境整備が済むまでが大変だった。			101～500名
最初の時の操作の仕方の習得	1001名以上		
Zoomに慣れるのが大変だった。	1001名以上		

▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.25)

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

生徒の反応や様子が読み取れない

22%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
反応が拾いにくい。褒めたり叱ったりが出来ない	以前から導入している	集団指導	501～1000名
相手の様子や場の雰囲気をつかめない		個別指導	1001名以上
相手の様子がわかりにくい			1001名以上
対面授業のように生徒全員の顔や手の動きが見えない	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	1001名以上
反応がよくわからない			1001名以上
集団指導の場合、生徒の反応をとらえることが難しかった			501～1000名
生徒の把握が大変だった。			1001名以上
時々感情を読み取りづらい		個別指導	50名以下
理解度の把握			51～100名
生徒が本当に理解しているか直接顔を見ていないので不安です。(特に大人しい子の反応が薄いので)相手のテキストを指して「この部分が…」なんてことができないし全体的に口数が多くなり疲れる。記述式の解答を途中で見ることができない。			51～100名
生徒の作業が観察できないこと			501～1000名
生徒の正答までの過程や、またその逆。どのような解き方をしているのかわからないので的確な指導ができるのか不安だった。			501～1000名

▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.25)

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

通信トラブル

10%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
接続トラブルがあり、電話対応が大変	以前から導入している	集団指導	1001名以上
画面が乱れること		個別指導	50名以下
突如の通信障害			501～1000名
通信体制	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	51～100名
音声トラブルや映像トラブルがある		個別指導	501～1000名
接続が不安定な時がある。			1001名以上

コミュニケーションが取れない

5%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
質問を受けられない	以前から導入している	集団指導	1001名以上
意思の疎通に時間がかかる	コロナの感染拡大を機に導入した		50名以下
生徒とのコミュニケーションが取りづらく、結局みんな対面授業に来る			1001名以上

オンラインでの指導がやりにくい

5%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
直接ワークブックに丸付けができず指導ができなかった	以前から導入している	集団指導	50名以下
対面とオンラインのハイブリッドが慣れるまでやりにくかった。			501～1000名
オンラインではやりにくい単元もあった	コロナの感染拡大を機に導入した		1001名以上

▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.25)

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

生徒の集中力持続がむずかしい

3%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
生徒の集中力を持続させるのが一苦労。	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	51～100名
生徒の集中力を持続させることが難しかった			101～500名

その他

14%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
宿題の採点を家でもやらなきゃいけないくて時間外労働が増えた	以前から導入している	集団指導	50名以下
感染防止			51～100名
講師の育成		個別指導	1001名以上
親がかりでないとできないこと。	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	50名以下
手探りで始めたので失敗が多く、時間がかかること。			101～500名
資材の郵送返却		501～1000名	
対面授業との質の格差		個別指導	101～500名
出来の悪い生徒はリアル授業の方がよい			501～1000名

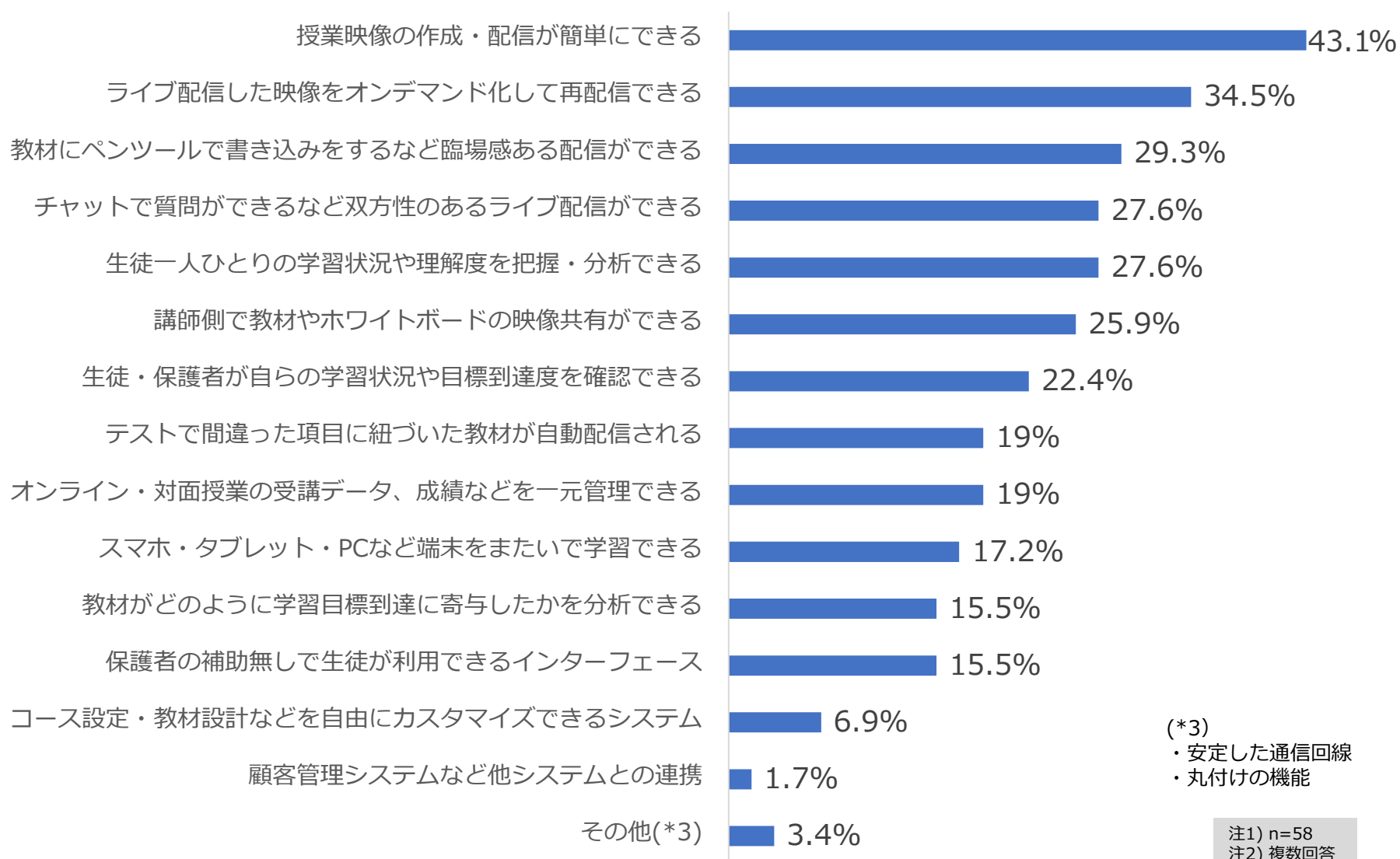
特になし

16%

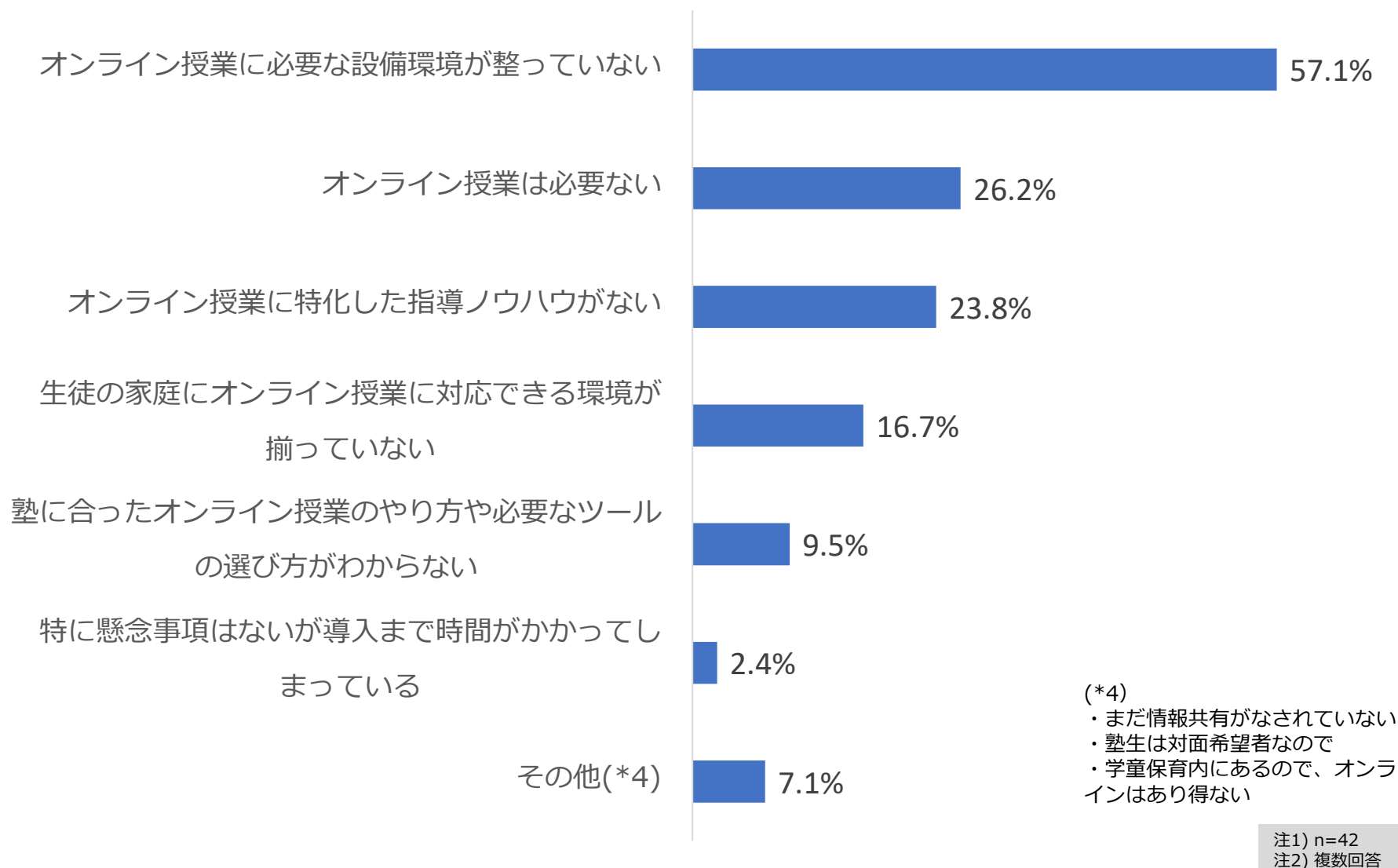
▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.25)

9. 今後もオンライン授業を提供していく上でどんな機能やサービスがあれば便利ですか。



10. 「導入を検討中」「導入予定なし」と答えた方はその理由をお聞かせください。



1.1. オンライン授業に関するご意見や今後の取り組み予定をお聞かせください。

オンライン授業を充実させていく

38%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
次は遠隔地指導を取り組みます。	以前から導入している	集団指導	501～1000名
コロナが促進したという面はあるが、以前より行っていたことであり今後はより充実させていく方向だと思われる		個別指導	1001名以上
海外からの参加者を作りたい			1001名以上
安心安全に学習する方法の一つです。			50名以下
生徒の集中力を持続させることへの新しい提案	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	101～500名
生徒の集中力をいかに持続させるか？が今後の課題。			51～100名
対面と同じ臨場感が出せるよう、オンライン授業のみの校舎を作りそこで受講できるようにする			1001名以上
オンライン授業を増やしていきたい。			50名以下
体調が悪い子も参加できるので欠席が減った。タブレットを各教室に複数個配布。インターネットも接続。		1001名以上	
より多くの生徒に対応できるように、しっかりと準備していきたい。		51～100名	
生徒が理解しやすいような授業を工夫する。		個別指導	51～100名
利用しやすい環境作り			51～100名
講師も子供も使いやすいハード、ソフトを求める。			1001名以上
コロナ収束まではこの態勢が続くと思う			50名以下
より個別のパーソナルなニーズに対応していきたい。	101～500名		
コロナ禍が拡大すれば取組みが加速すると思う	今後の導入を検討中	個別指導	1001名以上
オンライン授業の開講はこれから必須のことになってくると思う。世間の認知度が高くなることを願っている。	導入予定なし	個別指導	50名以下

1 1. オンライン授業に関するご意見や今後の取り組み予定をお聞かせください。

対面に戻す・オンラインは必要ない

32%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
結局対面のほうがいい授業になる。あくまで宿題とかの課題提出で活用すべきとなった	以前から導入している	集団指導	50名以下
今後は避けたい	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	50名以下
現在は対面授業に戻っている。			1001名以上
対面のほうが好きなのでオンラインはやりたくない			501～1000名
オンライン授業だけで進めるのはちょっと不安です。			1001名以上
さして大きな発展はないと思っている。正直導入しているところとそうでないところで生徒の増加数に違いがあるとは思えない。			101～500名
オンラインでいいのはアーカイブでもう一回授業に臨めること。欠席した子だけじゃなくよく分からなかった箇所を復習させて次の授業で前の授業の理解度を確認できる。とはいえ説明に時間がかかって歯がゆいところが多く早く対面に戻りたい。大学の授業の場合は問題なさそうな気がするが…。		個別指導	51～100名
対面に戻しつつある。			51～100名
対面の方がいい			501～1000名
今は対面授業に戻ったので、当面オンラインはやらない予定です。			501～1000名
時代はオンライン化だとしても、対面授業を希望する			501～1000名
昨年コロナ時に一度だけ実施したが、継続の必要性を感じなかった。生徒も望んでいない。	導入予定なし	集団指導	501～1000名
少人数なのでオンライン授業は必要ない		個別指導	50名以下
オンラインはありえない。			101～500名
取り組む予定無し			50名以下

1.1. オンライン授業に関するご意見や今後の取り組み予定をお聞かせください。

導入検討中だが課題あり

8%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
全てにおいてこれからです。	今後の導入を検討中	集団指導	51～100名
時節柄オンラインはやむを得ないと考えています。しかしノウハウ、設備とも極めて貧弱なため、実施の目処は立っていません。			101～500名
してみたいもののどうしたらよいかよくわからない。		個別指導	51～100名
インフラの問題			50名以下
通塾時間0などのメリット、画面を通すので抵抗があるなどのデメリット両面がある。			50名以下

その他

22%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
学習到達度が把握しにくい	以前から導入している	集団指導	51～100名
時間がもったいない時がある		個別指導	1001名以上
試行錯誤中	コロナの感染拡大を機に導入した	個別指導	51～100名
様子を見ています	今後の導入を検討中	個別指導	50名以下
今後を見据えて待っている状況	導入予定なし	集団指導	50名以下
指導により、オンラインの効率性が変わると思います			51～100名
オンラインに適した学習を指導できないので困っている		個別指導	50名以下
スマートフォンを使ったオンライン授業を学校が休校になったときのみ考えたい			50名以下
公文なので上の指示に従うのみ		自立型	1001名以上

注1) n=有効回答60
注2) 自由回答 (一部抜粋)

5. 調査データ

～塾の指導タイプ別クロス表～

1. あなたの塾では自宅で受けられるオンライン授業を導入していますか。

		全 体	以前から導入 している	コロナ感染拡大を 機に導入した	今後の導入を 検討中	導入予定なし
全 体		100 100.0	15 15.0	43 43.0	9 9.0	33 33.0
指導 タイプ	集団指導	50 100.0	10 20.0	25 50.0	3 6.0	12 24.0
	個別指導	48 100.0	5 10.4	17 35.4	6 12.5	20 41.7
	自立型	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0

2. 導入している方にお聞きします。オンライン授業の形式はどのようなものですか。

		全 体	ライブ配信型の 映像授業	オンラインでの 講師によるマン ツーマン指導	録画配信型の 映像授業 (オンデマン ド)	演習問題・ テスト配信 (自習形式)	その他 (*1)
全 体		58 100.0	34 58.6	29 50.0	26 44.8	9 15.5	2 3.4
指導 タイプ	集団指導	35 100.0	21 60.0	13 37.1	21 60.0	6 17.1	2 5.7
	個別指導	22 100.0	12 54.5	15 68.2	5 22.7	3 13.6	- -
	自立型	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -

(*1)
 ・オンライン授業
 ・LINE通話で課題の質問対応

注1) n=58
 注2) 複数回答

3. オンライン授業の対象者は誰ですか。

		全 体	小学生	中学生	高校生
全 体		58 100.0	40 69.0	41 70.7	33 56.9
指導 タイプ	集団指導	35 100.0	21 60.0	23 65.7	19 54.3
	個別指導	22 100.0	18 81.8	17 77.3	13 59.1
	自立型	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0

4.生徒が受講している主なデバイスは何ですか。

		全 体	PC	タブレット	スマホ	不明
全 体		58 100.0	32 55.2	17 29.3	8 13.8	1 1.7
指導 タイプ	集団指導	35 100.0	20 57.1	11 31.4	4 11.4	- -
	個別指導	22 100.0	11 50.0	6 27.3	4 18.2	1 4.5
	自立型	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -

5. オンライン授業を提供するために導入しているシステムやサービスはありますか。

		全 体	Web会議ツール (Zoomなど)	学習管理 システム (LMSなど)	オンライン 教材サービス・ アプリ	その他 (*2)
全 体		58 100.0	52 89.7	11 19.0	12 20.7	3 5.2
指導 タイプ	集団指導	35 100.0	32 91.4	7 20.0	8 22.9	3 8.6
	個別指導	22 100.0	19 86.4	4 18.2	4 18.2	- -
	自立型	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -

(*2)

- ・googleclassroom
- ・自社開発システム
- ・LINE通話

6. オンライン授業で提供している教材の作成元は次のどれに該当しますか。

		全 体	オリジナル教材 (内製)	オリジナル教材 (外注)	システムに搭載 されている教材 (システムとの 一体型)	上記以外の アプリ教材や オンライン 教材サービス の教材
全 体		58 100.0	49 84.5	15 25.9	7 12.1	3 5.2
指導 タイプ	集団指導	35 100.0	29 82.9	8 22.9	6 17.1	2 5.7
	個別指導	22 100.0	19 86.4	7 31.8	1 4.5	1 4.5
	自立型	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -

7. オンライン授業にはどんな効果やメリットがありましたか。

		全 体	生徒が自宅で安心安全に授業を受けられる環境を提供できた	保護者から一定の評価を頂いた	退塾者減少／退塾者を最小限に抑えることができた	より多くの生徒への一斉指導が可能となった	体験授業や入塾面談をオンラインで実施できるようになった	新しい生徒の獲得につながった	複数のクラス・教室運営の標準化につながった	特になし
全 体		58 100.0	51 87.9	16 27.6	13 22.4	12 20.7	12 20.7	8 13.8	4 6.9	2 3.4
指導 タイプ	集団指導	35 100.0	30 85.7	12 34.3	8 22.9	9 25.7	11 31.4	7 20.0	4 11.4	- -
	個別指導	22 100.0	21 95.5	4 18.2	5 22.7	3 13.6	1 4.5	1 4.5	- -	1 4.5
	自立型	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

インフラ整備・授業準備・操作習得

24%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模	
システム変更があったとき	以前から導入している	集団指導	50名以下	
ネット環境の構築			51～100名	
システムの確立	50名以下			
それぞれの画像を作ったり、授業準備や整備上の問題が大変だった。	51～100名			
システムを整えるのが大変でした。また問い合わせも一時的に増えました。	501～1000名			
苦手な分野なので覚えるのに苦労した	501～1000名			
収録。	1001名以上			
はじめだけ生徒に浸透させるのがたいへんだった	1001名以上			
インフラの設備の導入と調整	コロナの感染拡大を機に導入した		個別指導	50名以下
開催をするまでの準備が大変だった。				51～100名
機器の準備に苦労した。		51～100名		
環境整備が済むまでが大変だった。		101～500名		
最初の時の操作の仕方の習得		1001名以上		
Zoomに慣れるのが大変だった。		1001名以上		

▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.42)

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

生徒の反応や様子が読み取れない

22%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
反応が拾いにくい。褒めたり叱ったりが出来ない	以前から導入している	集団指導	501～1000名
相手の様子や場の雰囲気をつかめない		個別指導	1001名以上
相手の様子がわかりにくい			1001名以上
対面授業のように生徒全員の顔や手の動きが見えない	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	1001名以上
反応がよくわからない			1001名以上
集団指導の場合、生徒の反応をとらえることが難しかった			501～1000名
生徒の把握が大変だった。			1001名以上
時々感情を読み取りづらい		個別指導	50名以下
理解度の把握			51～100名
生徒が本当に理解しているか直接顔を見ていないので不安です。(特に大人しい子の反応が薄いので)相手のテキストを指して「この部分が…」なんてことができないし全体的に口数が多くなり疲れる。記述式の解答を途中で見る事ができない。			51～100名
生徒の作業が観察できないこと			501～1000名
生徒の正答までの過程や、またその逆。どのような解き方をしているのかわからないので的確な指導ができるのか不安だった。			501～1000名

▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.42)

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

通信トラブル

10%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
接続トラブルがあり、電話対応が大変	以前から導入している	集団指導	1001名以上
画面が乱れること		個別指導	50名以下
突如の通信障害			501~1000名
通信体制	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	51~100名
音声トラブルや映像トラブルがある		個別指導	501~1000名
接続が不安定な時がある。			1001名以上

コミュニケーションが取れない

5%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
質問を受けられない	以前から導入している	集団指導	1001名以上
意思の疎通に時間がかかる	コロナの感染拡大を機に導入した		50名以下
生徒とのコミュニケーションが取りづらく、結局みんな対面授業に来る			1001名以上

オンラインでの指導がやりにくい

5%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
直接ワークブックに丸付けができず指導ができなかった	以前から導入している	集団指導	50名以下
対面とオンラインのハイブリッドが慣れるまでやりにくかった。			501~1000名
オンラインではやりにくい単元もあった	コロナの感染拡大を機に導入した		1001名以上

▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.42)

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

生徒の集中力持続がむずかしい

3%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
生徒の集中力を持続させるのが一苦労。	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	51～100名
生徒の集中力を持続させることが難しかった			101～500名

その他

14%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
宿題の採点を家でもやらなきゃいけないくて時間外労働が増えた	以前から導入している	集団指導	50名以下
感染防止			51～100名
講師の育成		個別指導	1001名以上
親がかりでないとできないこと。	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	50名以下
手探りで始めたので失敗が多く、時間がかかること。			101～500名
資材の郵送返却		501～1000名	
対面授業との質の格差		個別指導	101～500名
出来の悪い生徒はリアル授業の方がよい			501～1000名

特になし

16%

▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.42)

9. 今後もオンライン授業を提供していく上でどんな機能やサービスがあれば便利ですか。

	全 体	授業映像の作成・配信が簡単にできる	ライブ配信した映像をオンデマンド化して欠席者等に再配信できる	教材にペンをツールで書き込みをするなど臨場感あるライブ配信ができる	チャットで質問ができるなど双方性のあるライブ配信ができる	生徒一人ひとりの学習状況や理解度を把握・分析できる	講師側で教材やホワイトボードの映像共有ができる	生徒・保護者が自らの学習状況や目標到達度を確認できる	テストで間違った項目に紐づいた教材が自動配信される	オンライン・対面授業の受講データ、成績などを一元管理できる	スマホ・タブレット・PCなど端末をまたいで学習できる	教材がどのように学習目標到達に寄与したかを分析できる	保護者の補助無しで生徒が利用できるインターフェース	コース設定・教材設計などを自由にカスタマイズできるシステム	顧客管理システムなど他システムとの連携	その他(*3)
全 体	58 100.0	25 43.1	20 34.5	17 29.3	16 27.6	16 27.6	15 25.9	13 22.4	11 19.0	11 19.0	10 17.2	9 15.5	9 15.5	4 6.9	1 1.7	2 3.4
指導 タイプ	集団指導	35 100.0	16 45.7	13 37.1	10 28.6	11 31.4	7 20.0	10 28.6	7 20.0	7 20.0	6 17.1	5 14.3	7 20.0	3 8.6	1 2.9	1 2.9
	個別指導	22 100.0	9 40.9	7 31.8	7 31.8	5 22.7	9 40.9	5 22.7	6 27.3	4 18.2	4 18.2	3 13.6	4 18.2	2 9.1	1 4.5	- -
	自立型	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-

(*3)
 ・安定した通信回線
 ・丸付けの機能

10. 「導入を検討中」「導入予定なし」と答えた方はその理由をお聞かせください。

		全 体	オンライン 授業に必要な設備環境 が整っていない	オンライン 授業は必要 ない	オンライン 授業に特化 した指導ノ ウハウがない	生徒の家庭 にオンライ ン授業に対 応できる環 境が揃って いない	塾に合った オンライン 授業のやり 方や必要な ツールの選 び方がわか らない	特に懸念事 項はないが 導入まで時 間がかかっ てしまっ ている	その他 (*4)
全 体		42 100.0	24 57.1	11 26.2	10 23.8	7 16.7	4 9.5	1 2.4	3 7.1
指導 タイプ	集団指導	15 100.0	6 40.0	5 33.3	3 20.0	2 13.3	1 6.7	- -	- -
	個別指導	26 100.0	17 65.4	6 23.1	7 26.9	5 19.2	3 11.5	1 3.8	3 11.5
	自立型	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

(*4)

- ・まだ情報共有がなされていない
- ・塾生は対面希望者なので
- ・学童保育内にあるので、オンラインはあり得ない

1.1. オンライン授業に関するご意見や今後の取り組み予定をお聞かせください。

オンライン授業を充実させていく

38%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
次は遠隔地指導を取り組みます。	以前から導入している	集団指導	501～1000名
コロナが促進したという面はあるが、以前より行っていたことであり今後はより充実させていく方向だと思われる		個別指導	1001名以上
海外からの参加者を作りたい			1001名以上
安心安全に学習する方法の一つです。			50名以下
生徒の集中力を持続させることへの新しい提案	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	101～500名
生徒の集中力をいかに持続させるか？が今後の課題。			51～100名
対面と同じ臨場感が出せるよう、オンライン授業のみの校舎を作りそこで受講できるようにする			1001名以上
オンライン授業を増やしていきたい。			50名以下
体調が悪い子も参加できるので欠席が減った。タブレットを各教室に複数個配布。インターネットも接続。			1001名以上
より多くの生徒に対応できるように、しっかりと準備していきたい。		51～100名	
生徒が理解しやすいような授業を工夫する。		個別指導	51～100名
利用しやすい環境作り			51～100名
講師も子供も使いやすいハード、ソフトを求める。			1001名以上
コロナ収束まではこの態勢が続くと思う			50名以下
より個別のパーソナルなニーズに対応していきたい。		101～500名	
コロナ禍が拡大すれば取組みが加速すると思う	今後の導入を検討中	個別指導	1001名以上
オンライン授業の開講はこれから必須のことになってくると思う。世間の認知度が高くなることを願っている。	導入予定なし	個別指導	50名以下

1.1. オンライン授業に関するご意見や今後の取り組み予定をお聞かせください。

対面に戻す・オンラインは必要ない

32%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
結局対面のほうがいい授業になる。あくまで宿題とかの課題提出で活用すべきとなった	以前から導入している	集団指導	50名以下
今後は避けたい	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	50名以下
現在は対面授業に戻っている。			1001名以上
対面のほうが好きなのでオンラインはやりたくない			501～1000名
オンライン授業だけで進めるのはちょっと不安です。			1001名以上
さして大きな発展はないと思っている。正直導入しているところとそうでないところで生徒の増加数に違いがあるとは思えない。			101～500名
オンラインでいいのはアーカイブでもう一回授業に臨めること。欠席した子だけじゃなくよく分からなかった箇所を復習させて次の授業で前の授業の理解度を確認できる。とはいえ説明に時間がかかって歯がゆいところが多く早く対面に戻りたい。大学の授業の場合は問題なさそうな気がするが…。		個別指導	51～100名
対面に戻しつつある。			51～100名
対面の方がいい			501～1000名
今は対面授業に戻ったので、当面オンラインはやらない予定です。			501～1000名
時代はオンライン化だとしても、対面授業を希望する			501～1000名
昨年コロナ時に一度だけ実施したが、継続の必要性を感じなかった。生徒も望んでいない。	導入予定なし	集団指導	501～1000名
少人数なのでオンライン授業は必要ない		個別指導	50名以下
オンラインはありえない。			101～500名
取り組む予定無し			50名以下

1.1. オンライン授業に関するご意見や今後の取り組み予定をお聞かせください。

導入検討中だが課題あり

8%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
全てにおいてこれからです。	今後の導入を検討中	集団指導	51～100名
時節柄オンラインはやむを得ないと考えています。しかしノウハウ、設備とも極めて貧弱なため、実施の目処は立っていません。			101～500名
してみたいもののどうしたらよいかよくわからない。		個別指導	51～100名
インフラの問題			50名以下
通塾時間0などのメリット、画面を通すので抵抗があるなどのデメリット両面がある。			50名以下

その他

22%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
学習到達度が把握しにくい	以前から導入している	集団指導	51～100名
時間がもったいない時がある		個別指導	1001名以上
試行錯誤中	コロナの感染拡大を機に導入した	個別指導	51～100名
様子を見ています	今後の導入を検討中	個別指導	50名以下
今後を見据えて待っている状況	導入予定なし	集団指導	50名以下
指導により、オンラインの効率性が変わると思います			51～100名
オンラインに適した学習を指導できないので困っている		個別指導	50名以下
スマートフォンを使ったオンライン授業を学校が休校になったときのみ考えたい			50名以下
公文なので上の指示に従うのみ		自立型	1001名以上

注1) n=有効回答60
注2) 自由回答 (一部抜粋)

6. 調査データ

～塾の規模別クロス表～

1. あなたの塾では自宅で受けられるオンライン授業を導入していますか。

		全 体	以前から 導入してい る	コロナ感染 拡大を機に 導入した	今後の導入 を検討中	導入予定 なし
全 体		100 100.0	15 15.0	43 43.0	9 9.0	33 33.0
塾の 規模	50名以下	37 100.0	4 10.8	7 18.9	4 10.8	22 59.5
	51～100名	16 100.0	3 18.8	9 56.3	2 12.5	2 12.5
	101～500名	11 100.0	- -	6 54.5	2 18.2	3 27.3
	501～1000名	12 100.0	3 25.0	8 66.7	- -	1 8.3
	1001名以上	24 100.0	5 20.8	13 54.2	1 4.2	5 20.8

2. 導入している方にお聞きします。オンライン授業の形式はどのようなものですか。

		全 体	ライブ配信型 の映像授業	オンラインで の講師による マンツーマン 指導	録画配信型 の映像授業 (オンデマ ンド)	演習問題・ テスト配信 (自習形 式)	その他 (*1)
全 体		58 100.0	34 58.6	29 50.0	26 44.8	9 15.5	2 3.4
塾の 規模	50名以下	11 100.0	4 36.4	7 63.6	1 9.1	- -	2 18.2
	51～100名	12 100.0	9 75.0	7 58.3	7 58.3	5 41.7	- -
	101～500名	6 100.0	3 50.0	3 50.0	3 50.0	1 16.7	- -
	501～1000名	11 100.0	6 54.5	8 72.7	4 36.4	- -	- -
	1001名以上	18 100.0	12 66.7	4 22.2	11 61.1	3 16.7	- -

(*1)

- ・オンライン授業
- ・LINE通話で課題の質問対応

3. オンライン授業の対象者は誰ですか。

		全 体	小学生	中学生	高校生
全 体		58 100.0	40 69.0	41 70.7	33 56.9
塾の 規模	50名以下	11 100.0	5 45.5	9 81.8	6 54.5
	51～100名	12 100.0	9 75.0	10 83.3	5 41.7
	101～500名	6 100.0	5 83.3	5 83.3	3 50.0
	501～1000名	11 100.0	9 81.8	9 81.8	8 72.7
	1001名以上	18 100.0	12 66.7	8 44.4	11 61.1

4.生徒が受講している主なデバイスは何ですか。

		全 体	PC	タブレット	スマホ	不明
全 体		58 100.0	32 55.2	17 29.3	8 13.8	1 1.7
塾の 規模	50名以下	11 100.0	6 54.5	3 27.3	2 18.2	- -
	51～100名	12 100.0	6 50.0	2 16.7	4 33.3	- -
	101～500名	6 100.0	5 83.3	1 16.7	- -	- -
	501～1000名	11 100.0	5 45.5	5 45.5	1 9.1	- -
	1001名以上	18 100.0	10 55.6	6 33.3	1 5.6	1 5.6

5. オンライン授業を提供するために導入しているシステムやサービスはありますか。

		全 体	Web会議ツール (Zoomなど)	オンライン教材 サービス・ アプリ	学習管理システ ム (LMSなど)	その他 (*2)
全 体		58 100.0	52 89.7	12 20.7	11 19.0	3 5.2
塾の 規模	50名以下	11 100.0	11 100.0	- -	- -	1 9.1
	51~100名	12 100.0	11 91.7	4 33.3	5 41.7	- -
	101~500名	6 100.0	6 100.0	1 16.7	3 50.0	- -
	501~1000名	11 100.0	10 90.9	2 18.2	1 9.1	1 9.1
	1001名以上	18 100.0	14 77.8	5 27.8	2 11.1	1 5.6

(*2)

- ・ googleclassroom
- ・ 自社開発システム
- ・ LINE通話

6. オンライン授業で提供している教材の作成元は次のどれに該当しますか。

		全 体	オリジナルの教材 (内製)	オリジナルの教材 (外注)	システムに搭載 されている教材 (システムとの 一体型)	上記以外の アプリ教材や オンライン教材
全 体		58 100.0	49 84.5	15 25.9	7 12.1	3 5.2
塾の 規模	50名以下	11 100.0	8 72.7	3 27.3	- -	1 9.1
	51~100名	12 100.0	10 83.3	4 33.3	4 33.3	1 8.3
	101~500名	6 100.0	4 66.7	3 50.0	2 33.3	- -
	501~1000名	11 100.0	11 100.0	2 18.2	- -	- -
	1001名以上	18 100.0	16 88.9	3 16.7	1 5.6	1 5.6

7. オンライン授業にはどんな効果やメリットがありましたか。

		全 体	生徒が自宅で安心安全に授業を受けられる環境を提供できた	保護者から一定の評価を頂いた	退塾者減少／退塾者を最小限に抑えることができた	より多くの生徒への一斉指導が可能となった	体験授業や入塾面談をオンラインで実施できるようになった	新しい生徒の獲得につながった	複数のクラス・教室運営の標準化につながった	特になし
全 体		58 100.0	51 87.9	16 27.6	13 22.4	12 20.7	12 20.7	8 13.8	4 6.9	2 3.4
塾の規模	50名以下	11 100.0	10 90.9	1 9.1	1 9.1	1 9.1	- -	1 9.1	- -	1 9.1
	51～100名	12 100.0	9 75.0	5 41.7	3 25.0	4 33.3	4 33.3	- -	2 16.7	1 8.3
	101～500名	6 100.0	5 83.3	1 16.7	4 66.7	3 50.0	2 33.3	1 16.7	- -	- -
	501～1000名	11 100.0	11 100.0	2 18.2	1 9.1	3 27.3	4 36.4	2 18.2	1 9.1	- -
	1001名以上	18 100.0	16 88.9	7 38.9	4 22.2	1 5.6	2 11.1	4 22.2	1 5.6	- -

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

インフラ整備・授業準備・操作習得

24%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模	
システム変更があったとき	以前から導入している	集団指導	50名以下	
ネット環境の構築			51～100名	
システムの確立	50名以下			
それぞれの画像を作ったり、授業準備や整備上の問題が大変だった。	51～100名			
システムを整えるのが大変でした。また問い合わせも一時的に増えました。	501～1000名			
苦手な分野なので覚えるのに苦労した	501～1000名			
収録。	1001名以上			
はじめだけ生徒に浸透させるのがたいへんだった	1001名以上			
インフラの設備の導入と調整	コロナの感染拡大を機に導入した		個別指導	50名以下
開催をするまでの準備が大変だった。				51～100名
機器の準備に苦労した。		51～100名		
環境整備が済むまでが大変だった。		101～500名		
最初の時の操作の仕方の習得		1001名以上		
Zoomに慣れるのが大変だった。		1001名以上		

▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.59)

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

生徒の反応や様子が読み取れない

22%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
反応が拾いにくい。褒めたり叱ったりが出来ない	以前から導入している	集団指導	501～1000名
相手の様子や場の雰囲気をつかめない		個別指導	1001名以上
相手の様子がわかりにくい			1001名以上
対面授業のように生徒全員の顔や手の動きが見えない	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	1001名以上
反応がよくわからない			1001名以上
集団指導の場合、生徒の反応をとらえることが難しかった			501～1000名
生徒の把握が大変だった。			1001名以上
時々感情を読み取りづらい		個別指導	50名以下
理解度の把握			51～100名
生徒が本当に理解しているか直接顔を見ていないので不安です。(特に大人しい子の反応が薄いので)相手のテキストを指して「この部分が…」なんてことができないし全体的に口数が多くなり疲れる。記述式の解答を途中で見ることができない。			51～100名
生徒の作業が観察できないこと			501～1000名
生徒の正答までの過程や、またその逆。どのような解き方をしているのかわからないので的確な指導ができるのか不安だった。			501～1000名

▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.59)

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

通信トラブル

10%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
接続トラブルがあり、電話対応が大変	以前から導入している	集団指導	1001名以上
画面が乱れること		個別指導	50名以下
突如の通信障害			501～1000名
通信体制	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	51～100名
音声トラブルや映像トラブルがある		個別指導	501～1000名
接続が不安定な時がある。			1001名以上

コミュニケーションが取れない

5%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
質問を受けられない	以前から導入している	集団指導	1001名以上
意思の疎通に時間がかかる	コロナの感染拡大を機に導入した		50名以下
生徒とのコミュニケーションが取りづらく、結局みんな対面授業に来る			1001名以上

オンラインでの指導がやりにくい

5%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
直接ワークブックに丸付けができず指導ができなかった	以前から導入している	集団指導	50名以下
対面とオンラインのハイブリッドが慣れるまでやりにくかった。			501～1000名
オンラインではやりにくい単元もあった	コロナの感染拡大を機に導入した		1001名以上

▼黄色

今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.59)

8. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったことは何でしたか。

生徒の集中力持続がむずかしい 3%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
生徒の集中力を持続させるのが一苦労。	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	51~100名
生徒の集中力を持続させることが難しかった			101~500名

その他 14%

大変だったこと	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
宿題の採点を家でもやらなきゃいけないくて時間外労働が増えた	以前から導入している	集団指導	50名以下
感染防止			51~100名
講師の育成		個別指導	1001名以上
親がかりでないとできないこと。	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	50名以下
手探りで始めたので失敗が多く、時間がかかること。			101~500名
資材の郵送返却		501~1000名	
対面授業との質の格差		個別指導	101~500名
出来の悪い生徒はリアル授業の方がよい			501~1000名

特になし 16%

▼黄色
今後の予定として「対面に戻す・オンライン授業は必要ない」と回答した人 (⇒P.59)

9. 今後もオンライン授業を提供していく上でどんな機能やサービスがあれば便利ですか。

		全 体	授業映像の作成・配信が簡単にできる	ライブ配信した映像をオンデマンド化して欠席者等に再配信できる	教材にペンをツールで書き込みをするなど臨場感あるライブ配信ができる	生徒からチャットで質問ができるなど双方向性のあるライブ配信ができる	生徒一人ひとりの学習状況や理解度を把握・分析できる	講師側で教材やホワイトボードの映像共有ができる	生徒・保護者が自らの学習状況や目標到達度を確認できる	テストで間違った項目に紐づいた教材が自動配信される	オンライン・対面授業の受講データ、成績などを一元管理できる	スマホ・タブレット・PCなど端末をまたいで学習できる	教材がどのように学習目標到達に寄与したかを分析できる	保護者の補助無しで生徒が利用できるインターフェース	コース設定・教材設計などを自由にカスタマイズできるシステム	顧客管理システムなど他システムとの連携	その他(*3)
全 体		58 100.0	25 43.1	20 34.5	17 29.3	16 27.6	16 27.6	15 25.9	13 22.4	11 19.0	11 19.0	10 17.2	9 15.5	9 15.5	4 6.9	1 1.7	2 3.4
塾の規模	50名以下	11 100.0	3 27.3	3 27.3	3 27.3	3 27.3	1 9.1	4 36.4	1 9.1	1 9.1	-	2 18.2	1 9.1	2 18.2	1 9.1	1 9.1	1 9.1
	51~100名	12 100.0	8 66.7	5 41.7	6 50.0	2 16.7	3 25.0	3 25.0	4 33.3	2 16.7	2 16.7	3 25.0	3 25.0	2 16.7	2 16.7	-	-
	101~500名	6 100.0	3 50.0	4 66.7	2 33.3	3 50.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	3 50.0	2 33.3	-	2 33.3	-	-	-	-
	501~1000名	11 100.0	4 36.4	2 18.2	2 18.2	3 27.3	6 54.5	3 27.3	3 27.3	4 36.4	2 18.2	3 27.3	1 9.1	3 27.3	1 9.1	-	1 9.1
	1001名以上	18 100.0	7 38.9	6 33.3	4 22.2	5 27.8	4 22.2	3 16.7	3 16.7	1 5.6	5 27.8	2 11.1	2 11.1	2 11.1	-	-	-

(*3)
 ・安定した通信回線
 ・丸付けの機能

10. 「導入を検討中」「導入予定なし」と答えた方はその理由をお聞かせください。

		全 体	オンライン 授業に必要な設備環境 が整っていない	オンライン 授業は必要 ない	オンライン 授業に特化 した指導ノ ウハウがない	生徒の家庭 にオンライ ン授業に対 応できる環 境が揃って いない	塾に合った オンライン 授業のやり 方や必要な ツールの選 び方がわか らない	特に懸念事 項はないが 導入まで時 間がかかっ てしまっ ている	その他 (*4)
全 体		42 100.0	24 57.1	11 26.2	10 23.8	7 16.7	4 9.5	1 2.4	3 7.1
塾の 規模	50名以下	26 100.0	14 53.8	9 34.6	5 19.2	4 15.4	2 7.7	1 3.8	2 7.7
	51~100名	4 100.0	2 50.0	- -	2 50.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
	101~500名	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0
	501~1000名	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	1001名以上	6 100.0	4 66.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	- -	- -	- -

(*4)

- ・まだ情報共有がなされていない
- ・塾生は対面希望者なので
- ・学童保育内にあるので、オンラインはあり得ない

1.1. オンライン授業に関するご意見や今後の取り組み予定をお聞かせください。

オンライン授業を充実させていく

38%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
次は遠隔地指導を取り組みます。	以前から導入している	集団指導	501～1000名
コロナが促進したという面はあるが、以前より行っていたことであり今後はより充実させていく方向だと思われる		個別指導	1001名以上
海外からの参加者を作りたい			1001名以上
安心安全に学習する方法の一つです。			50名以下
生徒の集中力を持続させることへの新しい提案	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	101～500名
生徒の集中力をいかに持続させるか？が今後の課題。			51～100名
対面と同じ臨場感が出せるよう、オンライン授業のみの校舎を作りそこで受講できるようにする			1001名以上
オンライン授業を増やしていきたい。			50名以下
体調が悪い子も参加できるので欠席が減った。タブレットを各教室に複数個配布。インターネットも接続。			1001名以上
より多くの生徒に対応できるように、しっかりと準備していきたい。		51～100名	
生徒が理解しやすいような授業を工夫する。		個別指導	51～100名
利用しやすい環境作り			51～100名
講師も子供も使いやすいハード、ソフトを求める。			1001名以上
コロナ収束まではこの態勢が続くと思う			50名以下
より個別のパーソナルなニーズに対応していきたい。	101～500名		
コロナ禍が拡大すれば取組みが加速すると思う	今後の導入を検討中	個別指導	1001名以上
オンライン授業の開講はこれから必須のことになってくると思う。世間の認知度が高くなることを願っている。	導入予定なし	個別指導	50名以下

1.1. オンライン授業に関するご意見や今後の取り組み予定をお聞かせください。

対面に戻す・オンラインは必要ない

32%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
結局対面のほうがいい授業になる。あくまで宿題とかの課題提出で活用すべきとなった	以前から導入している	集団指導	50名以下
今後は避けたい	コロナの感染拡大を機に導入した	集団指導	50名以下
現在は対面授業に戻っている。			1001名以上
対面のほうが好きなのでオンラインはやりたくない			501～1000名
オンライン授業だけで進めるのはちょっと不安です。			1001名以上
さして大きな発展はないと思っている。正直導入しているところとそうでないところで生徒の増加数に違いがあるとは思えない。			101～500名
オンラインでいいのはアーカイブでもう一回授業に臨めること。欠席した子だけじゃなくよく分からなかった箇所を復習させて次の授業で前の授業の理解度を確認できる。とはいえ説明に時間がかかって歯がゆいところが多く早く対面に戻りたい。大学の授業の場合は問題なさそうな気がするが…。		個別指導	51～100名
対面に戻しつつある。			51～100名
対面の方がいい			501～1000名
今は対面授業に戻ったので、当面オンラインはやらない予定です。			501～1000名
時代はオンライン化だとしても、対面授業を希望する			501～1000名
昨年コロナ時に一度だけ実施したが、継続の必要性を感じなかった。生徒も望んでいない。	導入予定なし	集団指導	501～1000名
少人数なのでオンライン授業は必要ない		個別指導	50名以下
オンラインはありえない。			101～500名
取り組む予定無し			50名以下

1.1. オンライン授業に関するご意見や今後の取り組み予定をお聞かせください。

導入検討中だが課題あり

8%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
全てにおいてこれからです。	今後の導入を検討中	集団指導	51～100名
時節柄オンラインはやむを得ないと考えています。しかしノウハウ、設備とも極めて貧弱なため、実施の目処は立っていません。			101～500名
してみたいもののどうしたらよいかよくわからない。		個別指導	51～100名
インフラの問題			50名以下
通塾時間0などのメリット、画面を通すので抵抗があるなどのデメリット両面がある。			50名以下

その他

22%

オンライン授業に関するご意見・今後の取り組み予定	オンライン授業の導入時期	塾の指導タイプ	塾の規模
学習到達度が把握しにくい	以前から導入している	集団指導	51～100名
時間がもったいない時がある		個別指導	1001名以上
試行錯誤中	コロナの感染拡大を機に導入した	個別指導	51～100名
様子を見ています	今後の導入を検討中	個別指導	50名以下
今後を見据えて待っている状況	導入予定なし	集団指導	50名以下
指導により、オンラインの効率性が変わると思っています			51～100名
オンラインに適した学習を指導できないので困っている		個別指導	50名以下
スマートフォンを使ったオンライン授業を学校が休校になったときのみ考えたい			50名以下
公文なので上の指示に従うのみ		自立型	1001名以上

注1) n=有効回答60
注2) 自由回答 (一部抜粋)

コロナ禍における学習塾のオンライン授業に関する調査報告書

デジタル・ナレッジ 調査

検索

2021年9月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute
株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>